

平成 28 年 4 月から **曾於市コミュニティ FM 放送** がはじまります。

- ◆現在、有線放送やオフトーク通信で放送している朝・昼・夜の定時放送や災害・防災等の臨時放送は、ラジオの FM 局で聞けるようになります。
- ◆末吉、大隅地域で放送している有線放送と財部地域で放送しているオフトーク通信放送は、市内の全戸においてラジオで曾於市コミュニティ FM 放送が聞けることを確認できましたら、終了します。(平成 28 年 4 月～6 月に終了予定)

特徴


- 1 有線放送使用料・オフトーク通信使用料（年 2460 円）は、平成 28 年度から無くなります。
- 2 FM 放送を受信できるラジオを全世帯に無料配布します。
- 3 配布するラジオは朝・昼・夜の定時放送や災害、防災および避難指示等の緊急情報の発生時には、自動でスイッチが入り、お知らせする緊急放送等対応機能があります。
- 4 民放番組や曾於市独自の制作番組を放送します。
- 5 コミュニティ FM 放送は、自治会放送に対応していません。自治会放送設備の設置を希望する自治会は、末吉・大隅地域では有線方式、財部地域では無線方式で対応します。(有線設備使用料または無線式受信機購入には、一部個人負担金が必要となります。)

曾於市コミュニティ FM 放送の流れ



※配布するラジオは、上記の放送が始まるとスイッチが入り、終わるとスイッチが切れます。





放送局本部

- 1 朝・昼・夜の定時放送(自動でスイッチが入り、放送終了後自動でスイッチが切れる)
- 2 災害等の緊急情報(自動でスイッチが入り、放送終了後自動でスイッチが切れる)
- 3 自主制作等の番組放送(聴きたい時、自分でスイッチを入り切りする)
- 4 他社番組の放送(聴きたい時、自分でスイッチを入り切りする)



ラジオで聴ける



配布するラジオは、曾於市コミュニティ FM 放送以外のチャンネルを聴いている時でも、曾於市の定時放送や臨時放送の時は自動で切り替わり、定時放送や臨時放送が終わると、元のチャンネルに戻ります。



教えて! Q&A

Q1 どうして曾於市コミュニティFM放送局を設置することにしたの？

A

曾於市から市民の皆さんに情報を伝える手段として、末吉・大隅地域は有線放送、財部地域はN T T回線を利用したオフトーク通信で情報を発信しています。ではなぜ、コミュニティFM放送に移行するのか。大きく分けて2つの理由があります。

- ①N T T回線を利用した財部地域のオフトーク通信が、平成30年度で使用できなくなるため。
 - ②有線放送およびオフトーク通信の加入率が58.3%（平成27年1月末現在）で、行政からのお知らせや災害防災情報等を全市民に伝えられなくなったため。
- そこで、市民の皆さんへ情報を発信する手段として様々な方法を検討した結果、コミュニティFM局を設置することになりました。

Q2 ラジオの配布時期と方法は？

A

平成27年12月から平成28年3月頃までに配布します。ただし、無償貸付となりますので、転出されるときは返却をお願いします。

Q3 運営はどこがするの？

A

地方自治体は放送業務ができません。市が出資する法人を設置し、その社員が放送等の運営業務を行います。

Q4 自治会放送はどうなるの？

A

コミュニティFM放送は自治会放送に対応していません。平成27年8月頃に設置希望調査を行い、設置を希望する自治体には設備や料金等について説明を行います。

◆財部地区

自治会内での受信が可能な無線型放送受信機の設置を希望する自治会に対して、補助金を交付します。放送機・受信機の耐用年数は15年～20年程度で、放送機は移動可能です。一部個人負担金が必要となります。

◆末吉・大隅地区

当面の間、既設の有線柱や電線を残し利用可能とします。ただし、維持管理費の一部として使用料の負担をお願いする予定です。

行政の第一の使命は、市民の生命財産を守ることです。災害や防災、避難指示等の緊急を要する情報を全市民に早く正確に、そして安定して伝えるために、コミュニティFM放送を選択しました。

今後は、コミュニティFM局や中継アンテナの整備、運営団体の設立、ラジオの配布等を行い、自治会放送設備の相談にもしっかりと対応していきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

